

令和2年度 上川中学校グランドデザイン

- ・日本国憲法
- ・教育基本法 ・学校教育法
- ・学習指導要領
- ・北海道の教育の基本理念
- ・上川教育推進プラン
- ・上川町教育行政執行方針

《学校教育目標》自ら学び 心豊かに たくましく生きる人

- 自ら学び；自ら学び、自ら考え、学び取ったことを生かし、正しく行動できる生徒
- 心豊かに；自分を律しつつ、規範意識をもち、誠実な心、思いやりと感動する心のある生徒
- たくましく；心身ともに健康で、課題に直面しても、解決に向かって忍耐強く努力する精神的にたくましい生徒

《令和2年度 重点目標》
自分で考え、判断し、行動できる主体的な生徒の育成

重点目標に迫るための策『上中八策』

- 1 授業改善と学力向上
- 2 家庭学習の習慣化
- 3 小中連携
- 4 朝読書・朝学習の推進
- 5 生活習慣の健全化
- 6 キャリア教育の計画と実践
- 7 地域貢献や人つながりの強化
- 8 学活・道徳教育の充実による学級集団の向上

《学校は》

- 確かな学力と学びに向かう力を育む場
- 豊かな人間性を築き上げる場
- 他者と協働し、たくましく生き抜く体力・精神力を身につける場

《めざす生徒像》

- 主体的に学び、「確かな学力」を身につける生徒
- 礼儀とあいさつを基盤に、思いやりをもって行動する生徒
- 他者と協働し、たくましい心と体づくりに励む生徒

《保護者の願い》

- 明るく素直な子ども；挨拶の日常化と前向きな姿勢
- 基礎的な学力の定着を図る子ども；家庭学習の定着
- 思いやりのある優しい子ども；道徳的な判断力と実践力
- 進んで働き、奉仕できる子ども；キャリア教育の充実

《地域の支援＝コミュニティ・スクール》

- 学校運営基本方針の承認
- 学校運営・教育活動の支援・協力（学校支援事業；社会教育・公民館事業、ボランティア支援等）
- 学校運営・教育活動の評価

コンプライアンス
(法令遵守)

《教職員としての基本姿勢》

- 健康で元気に明るく勤務する教職員
- ・見通しをもち計画的な指導による安定的な教育活動
- ・組織的に課題解決に取り組み、1人で抱え込まない情報共有
- 心豊かで力のある教職員
- ・自ら進んで資質・能力の向上に努めようとする教職員
- ・生徒を人として尊重し、可能性を引き出す指導力
- ・教職員どうしや生徒との共感的な人間関係の構築力
- 厳しさの中にも温かさがある教職員
- ・忙しさを理由にせず、生徒と向き合う時間を優先する教職員
- ・良いことはすぐに褒め、ダメなことはしっかりしる教職員

《研究主題》
主体的・対話的で深い学びに繋がる授業の構築・改善 ～実践交流を中心に～

《学校経営の重点》

- 1 組織的な学校経営の推進
(1)教職員全員が生徒一人一人の担任としての高い意識
・副担任も朝・帰りの会や給食指導等でのふれ合い活動
(2)指導方法工夫改善加配による少人数指導TTを生かした指導体制
・教職員間でのコミュニケーションを深めることによる連携強化
(3)学校運営協議会(CS)・家庭・地域への学校評価の公表と学校改善
(4)合理的で協働的な分掌・学年経営の質的な向上
・一人で抱え込まない組織的な連携の強化
- 2 保護者・地域に開かれ信頼される学校教育の推進
(1)生徒の活動を積極的に公開することによる、社会に開かれた学校づくり
・参観日以外の学校公開日による積極的な学校公開
(2)学校・学級だより、HP等での定期的な情報発信
(3)学校運営協議会(CS)を活用し、連携を深めた信頼される学校づくり
(4)生徒指導部を中心とした縦横の「報・連・相」の徹底
・共感的な人間関係を根拠に据えた生徒指導
- 3 安全指導と危機・情報管理の推進
(1)日常の指導と安全点検
・朝・昼・放課後の生徒とのふれあいと月1回の安全点検
(2)危機管理体制の徹底(上中の教育 P26～危機管理と対応)
(3)情報の共有と定期的な点検による情報管理
- 4 学校財政の運用・管理と教育環境整備の推進
(1)教育環境(教室・廊下・その他施設等)の充実
(2)教材教具の整備と管理(ICT環境・大型TV・タブレット等)
(3)学校施設等の計画的な設置と定期的な点検・整備・修繕
(4)省エネ(ガス・水道・電気・暖房・文房具等)
- 5 小中連携・中高一貫教育の推進
(1)小中連携による研修活動や様々な情報の共有 (2)キャリア教育を軸とした小・中・高・大連携による指導の推進 (3)高校卒業後の希望進路の共有 (4)小中は上川町学校運営協議会(コミュニティスクール:CS)・町教研, 中高は一貫教育事業で連携強化

《組織的・計画的な協働と効率化》

- 日報「Eメール」の積極的な活用(打合せ時間短縮)
- 職員会議の学年内・部会内事前検討
- 部会・委員会での検討案件共有(記録化)
- 全員が生徒一人一人の担任としての高い意識
- 日常的な報・連・相の徹底と時間や期限の厳守
- 公費の計画的な執行
- 定時退勤日・学校開庁日の設定と励行、働き方改革を意識した業務改善
- 定期的な安全点検(月1回の安全点検)

生徒指導のさ・し・す・せ・そ
最悪を想定、慎重、素早く、誠意、組織的！

生徒心得

- 1 常に交通規則を守り、安全に注意します
- 2 登下校の時刻を守ります
- 3 欠席遅刻早退及び外出の場合は、先生に連絡します
- 4 事故などがあつた場合には、必ず先生に連絡します
- 5 金銭の貸し借りや物の売買はしません
- 6 学校には必要なもの以外は持ってきません
- 7 服装、みだしなみのきまりを守ります
- 8 身分証明書は必ず携帯します
- 9 校外生活については『上川町小・中・高校生の校外生活のしおり』などのきまりを守ります
- 10 公共施設はルールに従い大切に使います

《各領域での指導の重点》

- 1 自ら進んで学ぶ、主体的な学習態度を育てる学習指導
(1)校内研修が機能した、主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)に繋がる授業の構築・改善
(2)少人数指導を機能させた指導方法の工夫(含むTTや習熟の程度に応じた指導)
(3)客観性・透明性、理解不十分な生徒への支援も含めた評価の工夫・改善
(4)各教科で基礎・基本事項を明示し、その確実な定着に向けた家庭学習への支援
(5)読書強化日の継続等、読書活動の充実と習慣化
(6)町の検定料助成制度の活用による各種検定への挑戦や作品募集等の奨励
- 2 自己指導能力の育成を目指した生徒指導
(1)生徒が自ら判断し、正しいことに向かって積極的に行動するための支援 (2)生徒情報の共有を基盤とした共感的な人間関係の構築と相談体制の充実 (3)時と場に応じた言葉遣いとあいさつ、礼儀の奨励 (4)生徒に自己決定の場を与えることによる、自主・自立の意識高揚 (5)生徒が自己存在感を実感し、自己実現を図る生徒指導の充実 (6)常に「さ」最悪を想定し、「し」慎重に、「す」素早く、「せ」誠意をもって、「そ」組織的に対応する。
- 3 道徳的な判断力・心情、実践意欲と態度を育てる道徳指導
(1)中学校3年間を見通した年間指導計画の作成 (2)「特別の教科・道徳」として、道徳の教科書や「私たちの道徳」の活用等、生徒の興味・関心に応じた資料を通し、多様な価値観に触れる心に響く道徳の実践 (3)道徳推進教師を核とした、全教師による道徳授業の実践による協働的な道徳指導 (4)多様な価値観を受け入れ、自己を見つめ、物事を多面的・多角的にとらえ、生き方についての考えを深める指導の推進 (5)道徳科はもとより、各教科・総合的な学習の時間及び特別活動等、それぞれが連携し、生徒の特質に応じた指導の展開 (6)道徳的な課題を、一人一人の生徒が自分自身のことと捉え、向き合う「考える道徳」「議論する道徳」への転換
- 4 よりよい人間関係を築き、自主的・実践的な態度を育てる特別活動
(1)自主・自律の精神を育てる生徒会活動や異年齢集団活動の充実
(2)達成感を味わわせる学級経営・学級指導の充実
(3)ねらいを明確にし、成果を共通理解した上での学校行事の実践
(4)生徒会活動や中高一貫教育等、様々な活動への生徒の積極的参加
(5)地域社会・行事への積極的参加を通じた、地域社会への貢献意識醸成
- 5 自他の生命を尊重し、たくましい心身を育てる健康・安全指導
(1)自他の心と体を大切に指導の推進 (2)運動習慣の定着と体力・運動能力の向上 (3)発達段階に応じた性・人権・安全教育の推進 (4)栄養教諭や関係機関と連携した「食育」の推進
- 6 探求的・体験的に学び、自己の生き方を考える総合的な学習の時間
(1)発達段階や各教科・道徳・特別活動と関連づけた校外内外の教育資源を計画的・積極的に活用し、地域で学ぶ体験活動の実践と充実 (2)中高・中大連携によるキャリア教育を通して、自らの学び考える力の育成
(3)主体的な学びを促す自己評価、生徒個々の学習活動を多面的に捉える評価の工夫
- 7 生き方を考え将来への自己実現を意識させる進路指導・キャリア教育
(1)自らの特性を理解し、将来への展望をもった正しい勤労観・職業観の育成
(2)地域産業体験・勤労体験学習・進路啓発学習等を通して、将来の夢や希望を育む指導の充実
(3)上川高校・旭川大学や地域社会との連携、地域特性を理解し、社会展望をもたせたキャリア教育の充実
(4)グローバル社会に対応する国際的な視野を養う教育の推進
- 8 一人一人の教育的ニーズに応じる特別支援教育
(1)特別支援委員会の活性化や特別支援コーディネーターを中心とした全校的な支援体制の確立 (2)通常学級に在籍する「困り感のある生徒」への今後の支援のあり方検討 (3)関係機関やパートナーティーチャー・臨時教諭等との連携 (4)特別支援部教員による定期的な情報交換と指導方法・方針の確立

学年・学級経営目標

学年・学級経営

校務運営計画

計画(P)・実践(D)・評価(C)・改善(A)

